

## ご遺族の方の声

- ❖ よつばの看護師さんには、とても良くしていただきました。ありがとうございました。自宅で、夫を看取れて良かったです。
- ❖ 先日はお忙しい所、わざわざお線香をありがとうございました。そしてお花まで添えていただき、皆様にお礼申し上げます。看取りの時は看護師さんより暖かい言葉で寄り添ってくれた事に救われました。二人で頑張ってきた。葬儀パネルに「お母さんありがとう」「よく頑張ったね」です皆様に親切に感謝しております。お体に気を付けて頑張ってください。
- ❖ 「人間の死について」勉強をスタートしました。「死後の処置」を終えた後、人間の命、死、来世、現実には今の状況だけの世界でしたので、「本人の死」の死を通し、学んでいきたいと思っています。訪問看護の最後、「死」について少しふれあってみたらどうでしょうか。難しい事かもしれませんが、、、。
- ❖ よつばの皆様には母や私達家族が大変お世話になりました。最期を自宅で迎えられた事で現在私は穏やかに過ごす事ができています。訪問看護の仕事は多忙で大変だと思いますが、これからも必要としている患者さんの為に頑張ってください。ありがとうございました。
- ❖ 亡くなった後のケアもとてもありがたかったです。感謝しかありません。
- ❖ ●看取りのパンフ、十分して頂きました。点滴の事（水分摂取できなくなった後の事）呼吸の間隔、最期の発熱、たんの吸引などなどパンフからいろいろ学ばせて頂きました。よつばさんの看護を受けることができとても心強かったです。何よりも24時間相談に乗っていただけるということが、心の支えでした。最期を看取ることへの不安はありましたが「これからの過ごし方」のパンフレットを読んだり、看護師さんのアドバイスをいただき、自分の中に心構えや覚悟を持つことが出来ました。折りにつれ、いただいた話の中で「自分一人で抱え込まない。家族を信じてまかせるところは任せる。自分自身もサポートを受けなければならない存在なんだ。」ということに気づかされました。きっと私のこれからの人生に役立つ気づきだったと思います。ありがとうございました。
- ❖ よつばの皆さんの力が無ければ、私は兄の介護を在宅で2年3ヵ月も続けることは、困難だったと思います。次に来てくれる日までが、とても長く感じる事もありました。週の後半は、何の訪問予定もなかったために余計に長く感じていたかもしれません。看護では、些細な事にも丁寧親切に対応してもらい、また、兄だけではなく、私達家族にも寄り添ってもらいました。とても心強かったです。リハでは、沢山の兄の散歩へ付き合ってもらいました。散歩へ行けることが楽しみでした。リハの後、いつもスッキリとした表情になり兄のやる気にもつながっていました。チームよつばに感謝。チームよつばの皆さんありがとうございました。最期まで「よつば」で良かった。チームよつばの皆さんに感謝しかありません。兄に会えない寂しさとチームよつばの皆さんに会えない寂しさが、毎日押し寄せてきます。本当にありがとうございました。本当は、ものすごく辛かったんだと、今になって思うんです。後悔しかありません。もっと寄り添って、苦痛を取り除いてあげていたら…。「もう辛い助けて」と言われた、最期の言葉が耳から離れません。でも、「よつばがいつでも来てくれる」という安心感とパンフレットで心の準備は、していたつもりでしたが、現実は想像以上でした。上手くかけずにすみません。伝わらなかつたらゴメンナサイ。
- ❖ 対応など安心できた。何も問題はありません。
- ❖ パンフレットはとてもわかりやすく、読んでより心の準備ができたと思います。できれば、もう少し早く渡していただきたかったと思いました。みなさんにやさしく対応していただき、大変感謝しています。いろいろとお世話になりありがとうございました。
- ❖ 砂川市立病院様、よつばステーション様に会うことが出来ましたこと、看護を受けられた事、深く深く感謝を致しております。